

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年12月3日発行

— 2015.11.23 ~ 11.29 ・ 第48週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第45週	第46週	第47週
水痘	4 0.80	4 0.40	15 3.00		3 1.00	2 0.40		16 0.59	44 0.75	1,488	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	6 1.20							4 0.15	10 0.17	331				
百日咳									0 0.00	2				
感染性胃腸炎	46 9.20	66 6.60	7 1.40	19 9.50	14 4.67	18 3.60		188 6.96	358 6.07	17,233	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.40	7 0.70		1 0.50	1 0.33			16 0.59	27 0.46	10,993	◎	○	レ	レ
伝染性紅斑		4 0.40		1 0.50		1 0.20		7 0.26	13 0.22	1,650		○	レ	
突発性発しん	2 0.40	2 0.20	5 1.00	2 1.00	2 0.67		1 0.50	17 0.63	31 0.53	1,741	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		1 0.10						1 0.04	2 0.03	1,912				
インフルエンザ	5 0.63				2 0.40	2 0.25		7 0.16	16 0.17	19,696		○	レ	
咽頭結膜熱	4 0.80	1 0.10				3 0.60		7 0.26	15 0.25	1,105				
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	178				
急性出血性結膜炎			1 1.00						1 0.08	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34 6.80	11 1.10	4 0.80	1 0.50	4 1.33	41 8.20	2 1.00	68 2.52	165 2.80	6,861	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎					2 2.00	2 2.00	2 2.00	1 0.20	7 0.58	349				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	40 8.00	28 2.80	15 3.00	3 1.50	7 2.33	4 0.80	1 0.50	53 1.96	151 2.56	2099	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	78				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	9	3	2			1	3	2					
	川崎病				1									
	不明発疹症								4					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 男性1名  
石巻管内 女性1名(第47週)  
登米管内 男性1名(第47週)  
仙台管内 男性6名, 女児<sup>※</sup>1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

登米管内 女性1名  
仙台管内 女性2名  
腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
大崎管内 男性1名(第47週)  
腸管出血性大腸菌感染症(O145)  
登米管内 女性1名, 男児<sup>※</sup>2名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: ウイルス性肝炎

大崎管内 男性2名  
カルバペネム耐性腸内細菌感染症  
塩釜管内 男性1名

水痘(入院例)  
気仙沼管内 男性1名

梅毒

石巻管内 男性1名(第47週)  
仙台管内 男性1名

※男児、女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

仙南、石巻管内で警報継続中

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌患者より

登米管内のO145関連 第48週採取分 O145 2件, O157 1件

感染性胃腸炎集団発生事例より

塩釜管内 第48週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第45週採取分 (11.2～11.8)	第46週採取分 (11.9～11.15)	第47週採取分 (11.16～11.22)
インフルエンザウイルスA(H3)型	0件	0件	1件
インフルエンザウイルスC型	0件	1件	0件
RSウイルス	8件	9件	7件
アデノウイルス	3件	1件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	0件	3件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	2件	3件

※①RSウイルスの分離が多い状態が継続しています。

②第46週に2015-2016シーズン最初のインフルエンザウイルスC型が分離され、引き続き7週にA(H3)型が分離されました。

## 4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

通常夏季に流行が見られる腸管出血性大腸菌感染症の患者報告が続いています。今週も大崎、登米、仙台管内で患者報告がありました。O157やO26の血清型が代表的ですが、O145など多くの血清型も確認されています。通常は下痢や腹痛などの胃腸炎症状を呈しますが、まれに血便、尿毒症など重篤な症状を呈することがあり、注意が必要です。ヒト-ヒト感染と飲食物からの感染が多いことから手洗い等の予防対策の他、飲食の際には十分な加熱を行うなどの注意も必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

